

Χαίρουμᾶς Ἀρχὴ ΔΛΙ ΓΑΕΑΔΔ



貝塚ロータリークラブ

kaizkarc@jasmine.ocn.ne.jp

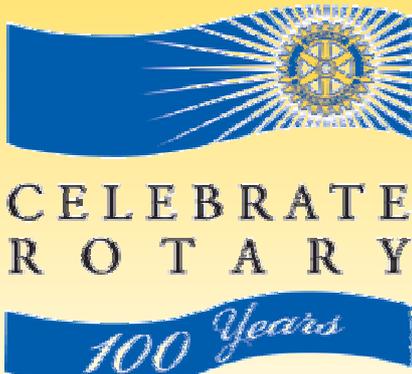
http://www4.ocn.ne.jp/~k-rc/

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ

例会日 毎週火曜日
12:30～13:30

例会場 産業文化会館
1Fメインホール

事務局 〒597-0094
貝塚市二色南町4-7
産業文化会館3F
TEL (0724) 39-0215
FAX (0724) 39-0225



会長 藪内 伸泰

幹事 塔筋 重治

会場監督 古本 宏文

会報委員 奥田 稔
古本 宏文
大原 一浩

ロータリーを祝おう
100年の歩み

本日の例会 2002

次週の例会 2003

2004年 8月31日 第 8回 例会

点 鐘
ロータリーソング
「R-O-T-A-R-Y」

今週の歌
「それでこそロータリー」
ソングリーダー 林 孝信 会員

卓 話
クラブフォーラム
(青少年ライラ活動)
「少年の主張」
主張大会優秀賞受賞者

点 鐘

2004年 9月 7日 第 9回 例会

点 鐘
「君が代」斉唱
ロータリーソング
「理想にもえて」

今週の歌
「十五夜お月さん」
ソングリーダー 福井芳弘 会員

卓 話
「 」

点 鐘

前回の例会記録

2004.8.24

7

お客様のご紹介



岸和田RCより池内矢一会長と杉本宏IM副委員長が、10月16日開催の第6組IMの説明及び出席依頼にお越し下さいました。



交換学生
アンディ君



米山奨学生
蔡 英実 さん



アンディ君からの
御礼の言葉

日本での生活はやはり実家（アメリカ）での生活とは全く違ったものになりました。文化の違う異国で過ごすのは大変な面もあるのですが、皆様のおかげで充実した楽しい時間となりました。聞く見る全てのことが面白かったですし、日本の歴史についてもいろいろ知る事ができました。

今回、この美しい日本という国に来る機会を与えて下さって有り難うございます。

また、何よりホストファミリーの皆様には非常に感謝しております。皆様は実に親切で、なおかつ本当の家族のように接して下さいました。何一つの不自由のない生活を送る事が出来たのも皆様のお心づかいのおかげです。それぞれのホストファミリーの皆様にも心より御礼申し上げます。今回の来日は生涯忘れることのない思い出になりました。本当に有り難うございました。

会長報告

出席報告



会員数 26名 出席義務会員 25名	
8月24日 出席会員 23名	92.00%
8月3日 MUを加えて	100%
本日の100%テーブル	.

幹 事 報 告



皆様のポストへ第6組IM開催のお知らせを入れさせていただきました。また、本日ホストである岸和田北RCより池内会長並びに杉本IM副委員長が出席のお願いに来て頂いておりますので、多数のご出席をお願い申し上げます。

第6組 IM ホスト：岸和田北RC

10月16日(土) 全日空ゲートタワーホテル大阪

事前会議 10:30~12:00 6階

入会3年未満会員、R財団委員長、米山奨学委員長は出席義務者となっております。

昼食(参加者全員) 11:45~12:40 受付5階

12:00~12:50 食事9階

本会議 13:00~16:30 6階 RICCホール

ニ コ ニ コ 報 告

😊 10月16日のIM6組のインターティミテイング 沢山のご出席を宜しくお願いします

.....岸和田北RC 杉本 宏 様

😊 10月16日のIMへの参加のお願いに参りました

.....岸和田北RC 池内 矢一 様

😊 国内旅行帰員

岸和田北RCの杉本様、池内様ようこそいらっしゃいました

2000回記念例会どうも有り難うございました

.....藪内 伸泰 会員

😊 2000回記念ニコニコオークションご協力有り難うございました

.....木下 昇三 会員

😊 2000回記念例会、子供・孫達楽しく過ごさせて頂き有り難うございました

.....岸田 尋子 会員

😊 2000回記念例会楽しく過ごしました。有り難うございました

.....竹本 欣司 会員

累計 265,771円

卓 話

「現代の中国における
高等教育改革について」

米山奨学生 蔡 英実 様



経済、科学技術及び社会の発展の需要に比べて、現代の中国高等教育の発展は明らかな後退性を呈している。経済の発展と人材の不足など一連の問題を解決するために、中国の高等教育も積極的な改革を進めている。

一 . 改革の背景

1 政府が高等教育の開設と管理の構図を独占した。全体的にソ連モデルを習って背景のもとに、1949年から1956年まで、中国では集中統一指導の高等教育管理体制が取られた。当時、全国の200余りの大学が教育部(文部科学省)とほかの部、委に直属された。(例えば、上海交通大学は鉄道部の附属大学で、中国青年政治学院は中国青年団中央委員会の附属大学で)そして、その後は中央集権体制が行われた。1956年以降の五年間中央、地方と学校との三者関係の均衡をはかるために、一部の大学は地方の管理に打ちされた。この間大学の建設は統制がとれなくなる現象が現れて、もとの229所大学からにわかに1289所大学が建設された。過度発展が国民経済の支持能力を超えて、教育質も厳しい影響を受けた。そして、1961年から1965年までの国民経済の調整時期において、政府と大学の関係について改めて調整して、今まで続いている中央部門と地方部門が別々に学校を建設し、別々に管理することとなった。これが今まで続いている管理モデルである。これ以降の改革は、地方自治によって、大学の発展が過度となり、それを抑えるために、中央集権によって、大学の発展を抑制するという状態を繰り返した。()

2 .長期にわたって、高等教育が社会公共における1つのサービスの組織として機能していた。伝統の計画経済時期(1949-70年代末)においては、中国では教育は基礎の業種とされ、社会公共のサービスとして定着して重視されなかった。しかし、市場経済の観点が人々に受け入れられてから「高等教育を産業化方向に発展する」(教育を経験して金をもうける)という呼び声が高くなった。ある人々は経済の管理方法で高等教育を管理しようと主張している。

しかし、この観点は危険性を帯びている。そしてこのような主張は、教育が国民経済の発展を誘導しているとする説(教育牽引国民経済説)が流行していることと密接に関連している。1997年から、教育養成、農業、林業、工業、製油業など少数の専門業種以外、無料教育は過去のものになった。

北京大学高等教育研究所の統計データによると、北京大学の96年生は1,500元(約2万5千円)、98年生は2,000元(約3万円)、99年生の授業料は3,200元(約5万円)であった。

この増加のスピードは人々を驚かせた。統計データに出ている1998年における中国の都市部の住民の平均年収は5,458元(約9万円)、農民は3,018元(約4万8千円)であるにも関わらず、1998年の大学生の授業料はそれぞれの平均年収の36.6%と66.2%を占めた。このように、コストの比重の不合理性は明らかであり、国民の負担は過度に重くなった。以前の、ほとんど無料で受けられてきた高等教育(大体1995年まで)から教育を受ける者自身が多くの教育費を負担するようになる変化の過程は、あまりにも速すぎたのだ。
()

3. 中国教育部の統計データによると、大学就学の適齢(18-22歳あたり)における大学進学率はわずかに9%である。高等教育は中国でいまだなお「エリート」教育の段階にある。ある角度から言えば、高等教育を受けるのは1種の特権であり、国際教育界の普遍的な高等教育普及目標(即ち50%)に比べると、はるかに及ばない。このために、中国ではまず高等教育大衆化の観点(15%以上)を目標として、これを基に一歩一歩普及化の過程を経ていこうとしている。
()北京大学が公布したデータを見ると、20世紀のなかでも90年代以後の大学生募集規模の増加スピードはとて速い。1993年、普通高等学校新入生の数は約98万人で、1999年には130万人を超えた。わずから6年間で、募集は32.7%も増加した。()しかし、社会の需要からみれば、これは相変わらず大学就学適齢人口の需要を満たせていない。

二. 改革の焦点と改革の対策について

「中国の教育改革と発展の綱要」において、中国の高等教育改革について目標はひとまとまりの重点大学と重点の学科、国内に立脚し、レベルが高い専門な人材を養成しよう、更に教育の質と科学技術のレベルを高め、大学の良い効果と利益も追求しようと述べている。

1. 政府と大学の関係がうまくいくため、高等教育の法律の立法を強化する。

中央の部、委員会と地方政府が合作し、大学を開き、管理するというような方式は進歩している。

以前のある部や委員会の大学は合法的な方式で管理などの権力を地方政府に移している。

学科と学科が互いに交流と連係を積極的に促進し、同じ地域で小さい規模の単科大学を総合し、大規模な独立の学校法人になる。中国で大学は大都市に集まって、ほかの地域で大学が少ない。構造と分布のバランスをはかり、教育資源の配置を最適化し、教育の質とレベルを新しい段階へ上げることを目指している。2000年までに、全国で130所の大学が調整、合併し、56所の総合的な大学になっている。()

新しい「高等教育法」を参照し、企業と科学研究所は大学を開くことができた。企業と科学研究所は学校と契約し、資金と技術などを支援し、協力し、共に発展する。

2. 高等学校の内部体制の改革を強化する。「後方勤務」を中心に行っている改革は人事制度と分配制度の改革が重要である。

1949年から大学の管理コストの高さと財政状況が良くないその要因は、大学の管理者が教師の住宅、学生の宿舍や食堂など全面的なサービス施設も営めるということである。改革の成果は、多くの大学で教師住宅の投資や学生宿舍、食堂などの経営と管理が「社会化」したということである。

「社会化」のため学校は入札を募って応募の企業の中で、いいサービスを提供する可能性がある企業を採用して、学生宿舍と食堂などが企業と共同で建設、管理できるようになった。この結果、大学の内部管理制度が大変コスト・ダウンして、効率が高まった。

人事と給料制度の改革は北京、上海などの大学が多い地域に絞って試みている。改革の内容は機構と職員の人数を改めて考え直し、教員の客員制と職場の責任制を導入し、給料の評価基準を研究と教学の成果から決め、能力給の制度を強化するということである。人数と給料の改革について、民主的な雰囲気と管理の科学化を目指して行っている。

3. 就職の改革について

労働と人事の管理システムの改革にしたがって、卒業生は自主的な就職制度を実現する。この改革は中国で「双向選択」と言われる。この「双向」の意味は会社側と卒業生側ということである。以前は、一方で、国と地方政府がすべての卒業生に仕事を提供し、卒業生は自分で仕事を探さなくても、もう一方で、会社側は政府から就業人数についての計画書を受けて、卒業生に仕事を分配してきた。経済的な改革の影響で、計画の枠組みは破られた。

中国の高等教育の改革は、全体に見れば巨大なシステムと工事にちがいない。20世紀80年代以来、改革の道を回顧すると、複雑かつ艱難であると言えばそうだが、今に至って色々な方面で改革の成果も段々見えるようになった。だが、社会や科学の発展にとともに、新たな問題も出てきている。現代の中国における高等教育改革のプロセスを顧みてみると、中国は日本などの先進国から良い経験、実践や研究の方法などを学ぶことが非常に必要だと思う。

注：

() 劳凯声《试论高等教育改革中政府与高等教育法律关系的若干变化》，北京师范大学教育系。

() 北京大学课题组《既要着眼于未来，也要立足于现实——对徐滇庆及汤敏，左小蕾文章的答复》。

() 吉林传播学院 教务处《深化高等教育改革，必须树立十个新观念》。

() 北京大学课题组 魏新执笔《关于扩大高等教育规模对短期经济增长作用的研究报告》。

() 《中国普通高等教育体制改革情况》